



森ボラ 通信

第124号 2012年9月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆明暗を分けた防潮林

一年ぶりに東日本大震災支援ボランティアに参加しました。その活動現場付近で見た対照的な二つの防潮林を紹介しましょう。

一つは、釜石市の根浜海岸に広がる防潮林です（防霧林とも云われる）。一年前に20mを越える大津波を被ったとは思えないほど活力ある黒松林です(写真-1)。

付近の地形から被害を受けなかった理由を推定すると以下のことが考えられます。

- ① 後背地にはバックネットのように高い崖が迫っていて、寄せ波や引き波のエネルギーの増幅が阻止された。
- ② 加えて、車や漁船・家屋などの大型漂流物が殆どなかったため、それらによる倒壊から免れた。
- ③ 海拔が10mほどあったため、1~1.5mほどの地盤沈下があったものの塩水を吸い上げることなく枯渇は免れた。



二つ目は、陸前高田市の防潮林です。広い海岸に一本だけ残っている様は、あまりにも侘しく哀れな状態でした。後背地は1~2kmも市街地が広がり、大津波は根こそぎ家屋をはじめ大型ゴミを伴って防潮林を襲ったのだから、ひとたまりもなかったのでしょう。市街地一帯は地盤沈下が著しく、水が引かず田植え前の広大な水田地帯のように放置され、復興の兆しすら見当たりません。

有名になった「奇跡の一本松」は、すでに枯れていると半ば諦めていたのですが、まだ緑が残っており生きているうちに会えて感動しました。しかし、保護のためコモに巻かれた姿は痛々しく、根浜海岸の松のような活力はありません。「孤高の一本松よ、元気を出しておくれ」と祈りながらシャッターを切りました。（立ち入り禁止で近づくことができず、走るバスの中から撮ったので残念ながらブレています）(写真-2)



(追記)

黒松は、波を被ったぐらいでは平気で塩害に強いと言われていますが、さすがに地盤沈下で長期間海水に浸かると耐えられなくなったのでしょうか。一方、杉は津波の到達点をはっきり判るほど、一時的な冠水で枯れてしまう状況があちこちの杉林で見られました。(文・吉本)

★この原稿の投稿後保存活動も虚しく奇跡の一本松とはならず、この地に大震災の証として永久保存に向けて切断作業が始まりました。どのような形で現場に復帰するのか判りませんが一日も早く復興します事を祈っております。

■ 現場より

◆幌南小にホダギ提供 =キリンシルバー「力」助成事業

もう5年前になりますか幌南小学校の校庭にミズナラ原木を持ち込み子供たちとシイタケの駒菌を植えました。校舎に立てかけた木からよきよきキノコが生えてきているのが子供の目に入ればそれでいいのです。何かの折に思い出の中にキノコが登場し自然を愛する心が芽生えることと思います。

今回はその中の樹皮がはがれ落ちたもの20本(シイタケとナメコ)を新しいものに変えました。

(文・酒井)



写真は育成中のホダギ場の灌水作業

◆ 炭こそ古来の再生可能エネルギーです =北ガス サポート・ホット基金助成=

活動報告：9月1日 澄川都市環境林 11名

広葉樹の間伐材を集めて7月31日炭に焼いて、9月1日36個袋詰めをしました。10月7日の10周年記念行事で配布の計画です。マンション住まいの方はもらってこないだろうとゆう意見もありますがキャンプ時や玄関トイレの消臭に使っていただきたい。

木が二酸化炭素を吸収して育ち、そのなかから炭素だけを取り出したのが炭です。木材と同様に長く使うこと、貯蔵することに意味があります。

(文・酒井)



■ ひとこま

◆活動報告 — 北海道 CGC の森・活着調査、下草刈り、補植作業 —

6月4日、5日、12日、13日と8月9日、10日、23日、24日の8日間をかけて活着調査、下草刈りと枯死苗の補植作業を実施。延べ人数119人(5月60名、8月59名)で17.82haの下草刈りは機械班(刈り払い機)と手鎌班に別れての作業でした。

下草刈りの効用はこの地に多く自生しているウラジロエゾイチゴを刈ることにより苗木に光を確保する事と蒸れの防止にあります。又地拵えから4年も経つとカバノキ、ウダイカンバ、ケヤマハンノキ、イタヤカエデ等の天然更新が目立ち植栽樹種との共生が期待されます。稚樹を刈り払い機で刈らないようにするには大変気の使う作業でした。実生木の成長を期待しているオッパイ山(2ha、2小班畝数20本)と地拵え地区26小班146本の畝の草刈りを終え、8回の下草刈り作業は計画通り完了しました。

補植作業は6月12日に調査した枯死苗本数(図1)のデーターを踏まえ補植作業を実施。

枯死苗1,386本中、ケヤマハンノキ、イタヤカエデの天然更新の進んでいる畝(8-4・6・9・10、16-5・6・7・8)と又ミズナラ、クルミ等の直接播種した畝(16-4)には補植せずに現状を見守ることにしました。

今回は671本(図2)のポット苗で対応しましたが、残りの枯死苗についてはH25年5月に382本の補植を考えています。予定としてはミズナラ:58本、ハルニレ:137本、イタヤカエデ:69本、トドマツ:118本(文・事務局)

図1(調査日6月12日)

樹種	生立本数	枯死苗数	%
ミズナラ	1,238	615	49.7
ヤチダモ	536	72	13.4
ハルニレ	1,419	580	40.9
イタヤカエデ	315	112	35.6
エンジュ	150	7	4.7
	3,658	1,386	37.9

図2(補植日8月23日)

樹種	補植本数
ミズナラ	161
ハルニレ	406
ヤチダモ	69
イタヤカエデ	23
ドロノキ	12
計	671

◆活動報告 - 自然愛好家からミズナラの苗を頂きました -

事の発端は「北海道新聞社ぶんぶんの森」植樹祭の記事を見た室蘭市在住の菊池憲一さんから、種から育てたミズナラがあるので森づくりに役立てて欲しいとの事でした。

その話が道新を通して我が協会にありミズナラのポット苗を頂きに室蘭まで行って来ました。公園などでドングリを拾い集め直播きしたものやポットに直接植えたりしたものがご自分の畑に処狭ましと生えていました。

今回は3年生のポット苗147本を頂きましたがH30cmを超える苗は10月の協会10周年記念植樹に使用します。又、小苗は来年まで養生して森に返そうと思っています。直播きの苗も500本ほどあり時期を見て森づくりに活用したいと考えていますが肥沃な畑で育っていますので予想以上に成長が早いような気がしました。

一市民のこのような活動が森林再生の大きな底力になっていると思いました。(文・事務局)



◆活動報告

<澄川活動地入り口正面に
ローソン看板設置>・・・
会員参加者13名



8月22日(水)昨年7月から始まりました「緑の募金活動支援」を記念して澄川活動地に念願の看板を設置しました。

材(60cm×150cm)は無垢のセンノキの一枚板に今回の支援事業の成功を願って荻田会員、大窪会員が中心となって作成しました。ローソン札幌支店経営管理室の姉崎さんが来られ会員と一緒に看板の埋め込み作業に汗を流しました。(文・事務局)



■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・酒井・佐野・高野・津金・釣井・西野(梯)・矢澤・和田

審議および決定事項

1. 24年10月、11月スケジュール・・・幹事会10/9
2. 10周年記念行事・・・全体会議(10/1)及び樹木園、風倒木保全地区の見出し看板設置
3. 記念誌編集状況・・・入荷予定(9/28)
4. ローソン社員澄川活動参加(9/29)・・・植樹の為のポット苗準備(棟方)
5. <支笏湖 植栽、下草刈り>
 - ・北海道CGCの森・・・9/19新日本スーパーマーケット協会植樹祭(アカエゾマツ50本)
 - ・道新ぶんぶんの森植樹祭(10/13)・・・10/12(金)植栽準備、トドマツ650本
 - ・烏柵舞の森 アークス植樹祭(10/17.18)・・・アカエゾマツ2,730本
 - ・烏柵舞の森 オイスカ、ユネスコ(10/27)・・・広葉樹1,270本
6. 委員会報告 広報委員会(森ボラ直送蘭) 業務委員会(活動スケジュール)
助成委員会(花王みんなの森) 研修・企画委員会(冬季セミナーの状況)
7. その他
 - ・札幌工科専門学校澄川森林研修(10/10)・道民の森ネットワーク(10/20)
 - ・播種作業計画・・・年間計画のスケジュール化
 - ・2012年度第二回理事会・・・11月開催予定

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
8月13日(月)	支笏湖CGC 烏柵舞の森	3	植栽指導
8月18日(土)	有明	7	笹下草刈り及び植栽
8月20日(月)	澄川	3	林子内整備
8月22日(水)	澄川	13	林子内整備・CGCの森補植ポット苗準備
8月23日(木)	支笏湖北海道CGCの森	15	下草刈り・枯損苗の補植
8月24日(金)	支笏湖北海道CGCの森 及びコンサ 100年の森	13	下草刈り
8月27日(月)	澄川	11	林子内整備
8月29日(水)	リンゴ園	5	葉もぎ
8月30日(木)	澄川	13	林子内整備
8月31日(金)	リンゴ園	6	葉もぎ
9月1日(土)	澄川	12	林子内整備・幌南小学校ホダ木整備
9月3日(月)	澄川	15	林子内整備・10周年事業準備
9月6日(木)	リンゴ園	7	袋外し・葉もぎ
9月7日(金)	幹事会	12	定例
9月11日(火)	澄川	8	林子内整備・10周年事業準備
9月12日(水)	リンゴ園	6	袋外し・葉もぎ
9月13日(木)	リンゴ園	5	袋外し・葉もぎ
9月14日(金)	リンゴ園	8	袋外し・葉もぎ

◆ 『創立10周年記念行事』の最終案内

先にご案内の10周年記念行事への参加者は、会員31名、家族12名、賛助会員・友好団体・公共団体など33名、合計76名と大勢の方の賛同をいただき開催されます。皆さんと一緒に秋の一日を楽しみ、交流を深めましょう。

日 時：平成24年10月7日(日) 10時00分～14時00分 小雨決行

(台風などの場合は10月8日(月、祭日)に順延し、電話等にて連絡します)

場 所：札幌市澄川都市環境林

予 定：散策・植樹(10:15～11:15)、式典(11:30～12:00)、実演(13:00～14:00)

地下鉄：地下鉄南北線自衛隊前駅 9時00分～9時30分 送迎車運行

駐車場：豊平清掃事務所駐車場(豊平区西岡520)を利用。

*各作業の担当者は、午前8時までに現地に集合願います。